

衆議院(小選挙区選出)議員選挙公報(東京都第18区)

東京都選挙管理委員会



無所属
こやす
子安正美
まさみ

子どもが笑い シニアも笑う 快適な社会へ 「今」、困っている事を 1つ1つ解消!

少子高齢化が進む今、子どもを産み育てやすく、シニアは益々活躍できる社会が求められています。赤ちゃんも、子どもも、大人も、シニアも、皆楽しく笑って暮らせる快適な世の中を目指します!

1 皆さんが困っている事を解消!

皆さんが今困っている事に耳を傾けて一つ一つ解決します。
無所属だからこその事でも、
コロナ禍で収入が減少した世帯に対する支援を拡充します。

2 「健康教育」を実施!

学校生活、仕事、子育て、趣味の活動、すべての活動を支えるのは、心身の健康。健康の価値を伝え実践する「健康教育」を、小学校から行います。
また、高等学校の教育費完全無償化(所得制限の撤廃)を目指します。

3 安心・安全・安価な食材の提供を!

無農薬・無添加等の安心・安全な食材をスーパーで安く買えるようにします。
無農薬野菜を作りたい生産者に対し初期費用を補助。安定した販路確保のために学校給食へ導入。
生産者の数を増やす事で、生産量を増やし、一般家庭への普及を目指します。

皆さんの声を国会へ届けます! どうぞ気軽に声がけください。

プロフィール(略歴)

- ・1950年 横浜生まれ
 - ・早稲田大学教育学部理学科数学専修卒業(現 教育学部数学科)
 - ・住友海上火災保険(株)入社(現 三井住友海上火災保険(株))
 - ・定年後、都内IT企業へ
 - ・現在、民間企業代表取締役社長
- [家族] 妻・娘・息子2人・孫8人(その内6人乳幼児)
- [趣味] 映画鑑賞、サックス演奏

衆議院議員候補

子安正美 公式サイト

<https://www.masami-koyasu.jp>



コロナ経済暮らし
危機に必要な政治家。応援しています!

比例代表は 立憲民主党 変えよう。市民が主役の政治へ。

佐藤優 (作家・元外務省主任分析官)

菅直人さんは、人情家であるとともに筋を通す政治家です。コロナ禍の危機を克服し、平和を維持するために菅直人さんが国会で活躍し続けることがとても重要です。多様性を尊重し、日本の社会と国家を強化するために応援しています。

岡田めぐみ (福島より避難中・4児の母親)

原発事故被害者の話を聞き、事故に対して真摯に向き合い問題に取り組む姿を信頼しています。原発事故にも対応した経験を活かしこの国難を乗り越える為にも菅直人さんが必要です。

北澤俊美 (元防衛大臣)

原発事故の時、菅直人さんの突破力と決断力は、今振り返っても清々しい思いになります。再び国政の場で、日本の危機にしっかり対応できるよう指導してほしい。 Twitterはこちら →

#会に行ける元総理 (検索)

政権としてこれをやる 菅直人の政策

命を守る PCR検査を拡充させ、コロナの感染拡大を止めます
コロナワクチンを確保し、医療体制の整備を加速します
「一つの市に一つの保健所」を実現します

暮らしを守る コロナ禍の生活支援に全力を挙げます
介護保険制度を充実させます
子育て・教育費の負担軽減に取り組みます

国・地域を守る 「再生エネルギー100%」社会を切り開きます
地域の防災に国政から力を尽くします

プロフィール 1946年：山口県宇部市生まれ。都立小山台高校、東京工業大学理学部卒。弁理士。1974年：日本の婦人参政権運動を主導した市川房枝さんの選挙事務局長を務める。1980年：3度の落選を経て、衆議院議員選挙に初当選。1996年：厚生大臣就任。介護保険導入に尽力。薬害エイズの真相を究明し、被害者に謝罪。2010年：財務大臣を経て、第94代総理大臣に。東日本大震災・東電福島第一原発事故対応を総理として陣頭指揮。その後、原発ゼロに向けて取り組む。13期連続当選。若者世代と政治を変える活動を続ける。

詳細は WEB で



冷たい自己責任社会から「支え合う社会」へ転換が必要です。コロナ禍による国民の痛みを放置し、権力闘争に明け暮れた自民党には、もう政権を任せられません。立憲民主党など野党が結束して政権を奪取し、コロナ禍から国民の命と暮らしを守らなくてはなりません。
岸田新総理は「新しい資本主義」を掲げ、立憲民主党の政策を真似ていますが、アベノミクスなど安倍政権の経済政策を評価して、これまでの自民党と変わりません。「モリ・カケ・サクラ」問題の再調査にも消極的です。政治を変えるには、政権交代が絶対に必要です。初心を胸に新たな戦いに挑みます。



立憲民主党
かん
菅直人
なおと



チャンス無限大の日本へ!

すべての人が希望を抱き、失敗を恐れず、何度でもチャレンジできる社会をつくりたい。長島昭久

政策 1 チャンス無限大!

私が目指す理想社会は「何度でもやり直しの出来る社会」です。生涯学習やAIを活用したトランポリン型の再就職支援の制度を整備し、いつでも、誰でも、何歳でも、学ばせ直し、働き直せる「チャンス無限大の社会」をつくりたい。

政策 2 女性に優しい社会

多様な働き方を応援するため、保育所の入所基準緩和による待機児童解消、男性育休の推進や最低賃金の引き上げ、パート・非正規労働者の待遇を改善します。仕事と育児・介護の両立を支援し、家族がコロナに感染した際の公的サポート体制を強化します。

政策 3 子育てをサポート

子育て・教育予算を増やし、「こども庁」の創設や保育士の待遇改善、「こども福祉士」の国家資格化で子育てファミリーをトータルでサポートします。高校卒業まで給食、制服、教材、修学旅行等を含めた教育費の完全無償化を実現します。

政策 4 命と平和を守る

「自分の国は自分で守る」ためには、GDP比で欧州の半分、韓国の1/3と極端に低い防衛費をまずは正す必要があります。その上で日米同盟を強化しつつ、インド太平洋に安定した国際秩序を確立し、国民の命と平和な暮らしを守ります。

地元の課題解決に積極的に取り組んでいます!

- 国交省への要望を通じて、大丸用水堰の撤去工事が前倒しされ、多摩川氾濫のリスクを大幅に軽減(府中市)
- 米軍府中基地跡地が全面返還され、「府中の森」の一体的な利活用に向けて大きく前進(府中市)
- 小中学校のタブレットを中国製から安全性の高い台湾製に変更するお手伝い(武蔵野市)
- コロナワクチンの供給支援、国とのパイプ役として市や医師会をサポート(小金井市)

防衛副大臣(2012年) 衆議院安全保障委員会委員長(2012年)
内閣総理大臣補佐官(外交・安全保障担当)(2011-18)
衆議院外務委員会 筆頭理事(2011-18) 衆議院文部科学委員会 筆頭理事(2016-18)

1962年2月17日生まれ(享年)、家族は妻と娘二人。慶應義塾大学法学部(法政学)卒業、同大学院(憲法学)修了。米国ジョージタウン大学大学院(国際関係学)修了。衆議院議員(2007-18) 公明党、東京副都庁議員、東京国際交流センター理事、日本スポーツ協会 理事、日本スケート連盟 会長、東京都スケート連盟 会長

自民党 公認 比例代表も自民党へ

公明党 推薦

岸田文雄 内閣総理大臣
土屋正忠 元武蔵野市長 前衆議院議員



自民党 公認
長島昭久

(この選挙公報は、公職選挙法第169条第3項の規定により、候補者から提出された原稿をそのまま製版の上掲載したものです。)

投票日10月31日(日) 午前7時から午後8時まで

- ・期日前投票期間 10月20日(水)～10月30日(土) 午前8時30分から午後8時まで
- ・期日前投票所 お住まいの区・市役所、町・村役場やその出張所など
(期日前投票ができる日時は期日前投票所によって異なります。詳しくは、区市町村選挙管理委員会のお知らせ等でご確認ください。)

※ 新型コロナウイルス感染防止に向けて、投票所の混雑緩和のため、期日前投票の積極的なご利用をお願いします。

投票日10月31日(日) 午前7時から午後8時まで

期日前投票

10月20日(水)～10月30日(土) 午前8時30分から午後8時まで

期日前投票所 お住まいの区・市役所、町・村役場やその出張所など
(期日前投票ができる日時は期日前投票所によって異なります。詳しくは、区市町村選挙管理委員会のお知らせ等でご確認ください。)

※新型コロナウイルス感染防止に向けて、投票所の混雑緩和のため、
期日前投票の積極的なご利用をお願いします。

投票方法

「小選挙区選出議員選挙」と「比例代表選出議員選挙」があります。

- ◇小選挙区選出議員選挙 → 「候補者名」を記載
- ◇比例代表選出議員選挙 → 「政党名」を記載

特例郵便等投票

※新型コロナウイルス感染症で自宅・宿泊療養などをされている
有権者は特例郵便等投票が利用できます。

投票用紙の請求期限 10月27日(水) 午後5時まで
投票用紙の請求先 区市町村選挙管理委員会

特例郵便等投票の対象者

衆議院議員選挙の有権者で、投票用紙の請求の時点で、以下の外出自粛期間・隔離等措置
期間が10月20日(水)から10月31日(日)までの期間にかかる見込まれる方

- 感染症法・検疫法の規定により外出自粛要請を受けた方(但し、濃厚接触者は対象外)
- 検疫法の規定により隔離又は停留の措置を受けて宿泊施設に収容されている方
(特例郵便等投票の対象者及び投票方法については、東京都選挙管理委員会の特設ホームページでご確認
いただくか、お住まいの区市町村選挙管理委員会にお問い合わせください。)

特例郵便等投票のご案内：<https://www.r3syuugiinsen1.metro.tokyo.lg.jp/>

選挙管理委員会が実施する新型コロナウイルス感染症対策

- 投票所・期日前投票所にはアルコール消毒液を配置
- 投票管理者、投票立会人、投票所スタッフはマスクを着用
- 投票所内は扉や窓の常時開放、または定期的な換気
- 記載台、鉛筆等不特定多数の方が触れる箇所は定期的に消毒